

## 公益社団法人やどかりの里

### 2016年 寄付趣意書

1970（昭和45）年、やどかりの里は、病気が回復しているのにも関わらず長期入院を余儀なくされている人たちの「地域であたりまえに暮らしたい」という願いから、活動を開始しました。以来さいたま市内に地域生活を支援する場、グループホーム、憩う場、働く場などを点在させ、障害のある人も安心して暮らせる街づくりをめざして活動に組んでいます。こうした活動を45年以上の長い間継続してこられたのも、市民の方々のご理解・ご協力があったからこそと感謝いたしております。

現在やどかりの里が活動するための収入の多くは障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス報酬費や補助金・委託金です。（2015年：3億7,600万円）

また障害のある人の働く場として就労支援事業所を運営し、7,587万円の売上がありました。この売上から障害のある人へ工賃を支払い材料代などの経費に充てています。

2015年度、やどかりの里全体では寄付金として162万円、公益法人の会費として290万円の収入がありましたが、総支出額は約5億1,600万円あり1,000万円以上の赤字となっております。

このような苦しい状況ですが、本年度は主に以下のことに取り組んでいきます。

1. やどかり農園の活動を活発化させて、農作業を通じて地域とのつながりを強化すること
2. 精神科医療を抜本的に変革する運動へ参画し新たな地域ケアのありかたを考える
3. 高齢化を視野に入れた訪問型支援のあり方を検討する
4. 日本健康福祉政策学会埼玉学術大会の企画・運営

これらの活動には皆さまからの寄付がなくてはならない財源になります。寄付につきましては用途を定めることも、やどかりの里の公益事業への寄付とすることも可能です。

誰もが安心して暮らせる街づくりに向けて活動を進めてまいりたいと存じます。どうぞ趣旨を鑑み、寄付へのご協力のほどお願い申し上げます。

2016年4月1日

公益社団法人やどかりの里

代表理事 土橋敏孝